

学校だより



市川市立平田小学校

いなほ
稲穂

学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.20

R6年1月10日

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

校長 蜂須賀 久幸



主役である子供の自立を支援する

大人も子供もウソを吐(つ)きますが、その背景は多少違つかもしれません。学校では子供同士のトラブルが頻繁に起こります。学級担任が双方から事情を聴きとって事実確認をします。その上で納得の伴う解決を図って保護者に連絡をすると、「うちの子は違うと言っています」という声が返ってくることもたまにあります。報告によると、確かに十分聴きとれていない部分がある場合もありますが、子供のウソと親の妄信が見え隠れして、学校が信頼されていないことを悲しく思うケースがあるのも確かです。親は子供を信じるのは当然です。でも、子供の話には時に、自分に都合のよいウソや脚色が混じっていることを理解しておくことも子供を守るために大事だと考えています。

では、なぜ子供はウソを吐くのでしょうか。そうしたことに悩む保護者がいるかもしれません。理由の一つは、「怒られたくない」「失敗を隠したい」が故にウソを吐くケースです。親が厳しく叱ったり叩いたりしていると、その恐怖心から自分を守るために咄嗟にウソを吐いてしまうことがあります。親自身の態度を変えなければ、改善はないといえるケースです。

また、「親に心配をかけたくない」という理由があります。さらにもう一つ考えられるのは、「注意をひきたい」「愛されたい」、あるいは「よい子だと思われたい」「自分をよく見せたい」がためにウソを吐くケースがあります。幼少時から何かを達成すると“よい子ねえ～”“大好き！”と褒める一方で、うまくいかないと否定してしまっていると、子供は「よい子でいないと、親から愛してもらえない」と思い込んでしまいかねません。だから、褒め方にも気を付ける必要があります。普段から“よいところもできない部分も含めて、丸ごとあなたが好き！”というメッセージ、親ならではの正しい「大好きビーム」を送り続けてほしいのです。

仮に、子供が友達の持ち物を隠してしまったとしましょう。ウソを吐かない子であるためには、物隠しという行為自体は悪いことだが、悪いのはその行為であって“あなたのことは好き”だということを普段から伝えることです。感情的になって、人格を否定するような言葉が口から飛び出すことだけは慎みたいものです。裏面に結果を載せましたが、「自分のことが好きですか？」という設問に、肯定的回答をする子が5割に満たないのは毎回のことです。学校でも家庭でも、愛され大切にされていると感じることで自信がはぐくめるような声かけに努めたいと思っています。

「嘘も方便」と言われますが、基本的に“ウソを吐くことは絶対にいけない”と教えたいと考えます。ウソを一つ吐くことにより、そのウソを隠すためにさらにウソを吐かなくてはならなくなります。そして、雪だるま式にウソが膨らんでしまいます。親にウソを吐くことイコール隠し事をしているという罪悪感となり、子供に重くのしかかります。単にウソを信じ続けることは、子供の退路を奪ってしまうことにもなりかねませんし、親子の距離に微妙なズレを生じさせる危険性を孕ん

でいます。半分はウソが混ざっているかもしれないと思って受け入れながら聴くことで真実が見えてくるとともに、逃げ道や謝る機会を用意してあげることにつながりそうです。ですから、子供にウソを吐かせない褒め方や励まし方に日頃から気を配ると同時に、“もしかしたらウソが含まれているかもしれない”と内容を見極める心の余裕を持ち合わせることも大事です。それは、決して子供を信じていないということではありません。

ウソの有無は別にしても、様々な子供同士のトラブルは当事者同士が納得する形で解決を図ることに力を注ぎます。ただこれまでの経験から、「親の気が済まない」「大人のプライド・事情」で長引くケースもあります。陰から自立を支えるのが保護者であり教員だと思います。かわり方を間違えると、子供が間に挟まれて困惑したり逃げ場を失ってしまったりすることもあります。あくまで子供たちの声を、そして気持ちを尊重していきます。今年もよろしくお願ひします。

《参考：教育エッセイ「アグネスの教育アドバイス」》



第2回学校生活アンケート(11月)

『自分のことが好き』の「好き」を100として数値バーで表そう

	0 (ない)	50未満	50	50より大	100 (ある)
1年生	20.9%	9.0%	25.4%	11.9%	32.8%
2年生	6.8%	11.9%	27.1%	6.8%	47.5%
3年生	5.6%	8.5%	31.0%	26.8%	28.2%
4年生	7.6%	12.1%	45.5%	13.6%	21.2%
5年生	14.6%	11.0%	41.5%	14.6%	18.3%
6年生	7.0%	7.0%	45.6%	15.8%	24.6%
支援級	8.3%	0%	19.4%	2.8%	69.4%
全体	10.5%	9.1%	34.7%	14.2%	31.5%
	19.6%		34.7%	45.7%	

「学校生活アンケート」の項目は、①学校は楽しい
②心配がある ③自分のことが好き ④家にいると
きは楽しい ⑤相談したいことがある他です。気にな
る回答がある児童は、個別に聞き取りをしました。

やはり半数に満たない数値(6月:48.3%)



牛乳を飲めない?!

「牛乳を飲むと背が伸びる」と言われますが、牛乳だけで身長が高くなるわけではありません。ただ、成長期の子供にとって欠かせないカルシウムを摂取しやすく、また吸収されやすいため、給食でも毎日提供されています。

しかしながら、「乳アレルギー」のように医師の診断書はないものの、乳糖不耐症あるいは体質に合わず牛乳を飲むことができない場合も散見されるのが現状です。これは苦手・嗜好とは明らかに違って、体に変調をきたすものですから、同様にやむを得ない事情があって牛乳を「飲むことができない」という場合は、年度途中であっても一度学校へご相談ください。

頑張る子供たち (2回に分けて紹介)

【市川市読書感想文コンクール】

優良 S. S① U. R②
M. M③ M. S③
K. T⑤ M. Y⑥

【千葉県児童生徒科学作品展】

入選 S. R④

【火災予防絵画コンクール】

最優秀賞 K. A⑤

【エコとわざコンクール】

積水ハウス賞 N. S③

丸数字は学年です